

公開シンポジウム

「困窮者支援の現在・過去・未来」



【日時】 2014年2月23日（日）13：00—16：00（開場12：30）

【会場】 大阪市社会福祉研修・情報センター4階会議室1

「地域で暮らす」

こんな当たり前のことが、仕事をやめる、歳をとる、病気になる、障害がある、独りになる、…など、ちょっとしたきっかけで、簡単に、難しくなってしまいます。

雇用保険、医療保険、介護保険、など、さまざまな社会保障があるのに、どうしてそういうことになっているのでしょうか。

問題解決の糸口を探るために、すでに困窮者支援を行っている団体から、生きづらさを抱えていても、地域で暮らすために、どのような相談・支援を行ってきたか報告を受けます。

東京の特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会が取り組んでいる「重層的な生活課題（「四重苦」＝単身・高齢・要介護・障害）を抱えている人」たちに対する在宅生活支援、社会福祉協議会で行われている日常生活自立支援事業（あんしんさぽーと事業）、釜ヶ崎でサポーターズハウス（支援付住宅）入居者に対して行っている生活支援、釜ヶ崎を中心に困窮状態になっている人たちから相談を受け、その人たちに行われている家族的な支援など。

そして、今回、始まったばかりの「生活困窮者自立相談支援事業」について、みんなで議論し、「困窮者支援」の未来を検討していきたいと思います。

第一部：「いま居る場所を支援付きに」～地域包括ケアのなかの互助～ふるさとの会の実践

水田 恵 氏 NPO 法人すまい・まちづくり支援機構 代表理事／更生保護法人同歩会 理事長

第二部：「困窮者支援の現在・過去・未来」

岩間伸之 氏 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授／特定非営利活動法人西成後見の会 代表理事

川東仙司 氏 社会福祉法人大阪市西成区社会福祉協議会 はぎさぽーと 生活困窮者主任相談支援員

山田尚実 氏 NPO 法人サポーターズハウス連絡協議会 代表理事／メゾンドヴューコスモ 代表

尾松郷子 一般社団法人困窮者総合相談支援室

Hippo.（ひぼ） 業務責任者

【お問い合わせ】

一般社団法人困窮者総合相談支援室 Hippo.（ひぼ）

TEL：06-6636-7885 FAX：06-6536-8992

E-mail：hippo@hippo.or.jp

参加費：500円（資料代）

参加ご希望の方は、（ご氏名・所属団体・部署・役職

・ご連絡先TEL／FAX／E-mail）をご記入の上、
FAXもしくはE-mailでお申込みください。

【会場案内】

大阪市西成区出城 2-5-20（JR環状線・関西本線

「今宮」駅西出口徒歩10分）

